

栄東まちづくり協議会・委員会議事録

日 時 平成 29 年 12 月 12 日 (木) 18:30~20:15

場 所 栄東まちづくり協議会・会議室

出席者 委員：辻本会長、田端・萩野下副会長、臼井、野田、六角、酒井、前田(代理：古田係長)、井上(代理：金井塚主査)、犬飼

監事：河田

傍聴人 3 人

● 定足数の確認

11 人中 10 人の出席で規約第 11 条第 2 項の規定（在籍会員の過半数の出席）により有効に成立

● 議題及び報告事項

議題：

- 1 平成 30 年度事業計画(案)、予算(案)
- 2 その他

報告事項：

- 1 池田公園再整備構想策定
- 2 その他

● 議事要旨

議題：

- 1 平成 30 年度事業計画(案)、予算(案)

- ・ 街路灯の整備などは、道路管理者との協議を早めに行って、業務がスムーズにいくようにしてほしい。
- ・ 各団体の要望事項で事業計画に反映できていないものは何か。

→ 別紙 1-1 関連では、「8 平成 29 年度事業の継続化」の中の Wi-Fi の整備の拡大については十分には対応できていない。

別紙 1-2 関連では、「4 児童遊園地、どんぐり広場の防犯対策等」では、照明の設置等是对応しているが、フェンスの設置までは対応していない。

別紙 1-3 関連では、「1 道路の清掃」については全く対応できていない。これは街の美観向上に有意義なことではあるが、協議会だけがやるのではなく、ビルオーナー、テナント、住民等との協力体制が必要で、それには時間がかかるため見送っている。

「2 カラス対策」では、全部見送ろうかという議論もあったが、次につながるように、どの場所に駆除箱を置いて、餌代を含めたランニングコストなどの事業費がどれくらいかかるかの調査だけはやっておこうということで、調査費をつけている。

- ・ 道路空間整備検討事業の社会実験は 100 万円程度でできるのか。

→ すでに今年度についても 3 月に道路ワンプロックを実施予定で、警察の事前協議もしているが、道路に机、椅子を並べたり、ガードマンを配置したり、広報用のチラシを作ったりで、この程度で可能である。

- ・ 歩道のイルミネーションはすでに設置されていて、それを同じ場所につける計画になっているが、拡大は検討されないのか。効果の検証は。

→ すでにほかにもやってほしいという声があがっているが、全体事業費の中で、拡大は困難。しばらくは使い回しができるので、その評価も踏まえての今後の議論になる。効

果の検証はまた調査費がかかってしまうので、対応していない。

- ・ 多文化共生事業は今年度より 100 万円減っているが、どのような事業を考えているのか。
- ・ 働いている人は日本語を学ぶことによって給料があがるなどのメリットがないと来ない。子供は学校に落ちこぼれないようにという動機がある。ターゲットを考えてやる必要がある。
- 日本語教室は教育委員会に聞きに行ったり、他地域の事例も調査していて、まだ立ち上がっていないが、地域での持続可能な仕組みを考えると、地域の団体、人材を育成しながらやっていく必要がある。また学校の授業に落ちこぼれないようにするにはどのようなプログラムが有効かを考えると教育委員会、学校と連携を検討する必要がある。
- 栄東地区には FMC や PSJ という団体もあって、こうした既存の団体と連携してやっていかないとうまくいかないと思う。教育委員会との連携は学校の先生もたいへんなので、難しいと思う。当面は地域の団体との連携が必要と思う。
- 国際センターの方に聞いたら、やはり人材不足で、その養成が課題だと言っていた。また、教室でもイベントでも外国人の方に来てもらうのがとても難しい。
- 今年、夏にやったゆかた着付け体験は好評でよかった。イベントをやるなかで接点を見つけてやっていく必要がある。
- ・ 防災事業で予算が増えているのは。
- 今年も実は執行見込みで増やしている。今までは消防や警察の職員が講師になっていて、謝金が発生していなかった。しかし参加者を増やさないと効果が出ないので、今年から外部講師を招いたり、防災にちなんだアトラクションを検討している。来年度もそのようなことを考えている。

原案のとおり、総会に付議することとなった。

報告事項：

- 1 池田公園再整備構想策定
(質疑なし)
- 2 その他
(提案等なし)